

就職にストレート!
決め球は職業訓練



京都高等技術専門校キャラクター 未来の匠くん

「京都府における障害者の就労支援策について」 ～就業力の強化に向けて～

京都府

平成26年1月21日

1 京都府内の障害者雇用の現状について

2 京都府の障害者職業能力開発の取組

(1) 施設内訓練

- ① 京都障害者校
- ② 城陽障害者校
- ③ 福知山校
- ④ 京都校

(2) 委託訓練

(3) 障害者就労ステップアップ事業

(4) 障害者の訓練等についての現状と課題

3 京都府の障害者就労に向けた主な取組

(1) 京都ジョブパーク はあとふるコーナー

(2) 法定雇用率未達成企業訪問

(3) 障害者「福祉から雇用」応援事業

4 課題と今後の取組

1 京都府の障害者雇用の状況

(1) 京都府内における手帳の交付数(24年度末)

(各年度末現在 単位:人)

	18	19	20	21	22	23	24	18~24増減		
身体障害	132,666	138,118	143,185	144,820	145,088	144,453	145,127	12,461	人	9.4%
知的障害	17,909	18,559	19,231	19,866	20,574	21,435	22,284	4,375	人	24.4%
精神障害	12,063	13,030	14,070	14,918	15,380	16,177	17,458	5,395	人	44.7%
計	162,638	169,707	176,486	179,604	181,042	182,065	184,869	22,231	人	13.7%
対前年比増減		7,069	6,779	3,118	1,438	1,023	2,804			
対前年比増減率		4.3%	4.0%	1.8%	0.8%	0.6%	1.5%			

(2) 京都府の障害者の状況(年齢階級) (平成24年度)

(単位:人)

	合計			18歳未満			65歳以上			18歳以上~64歳以下		
	身体	療育	精神	身体	療育	精神	身体	療育	精神	身体	療育	精神
京都府(京都市除く)	65,436	9,667	5,034	830	1,940	102	48,935	775	823	15,671	6,952	4,109
京都市	79,691	12,617	12,424	898	4,283	215	59,449	946	2,140	19,344	7,388	10,069
京都府計	145,127	22,284	17,458	1,728	6,223	317	108,384	1,721	2,963	35,015	14,340	14,178

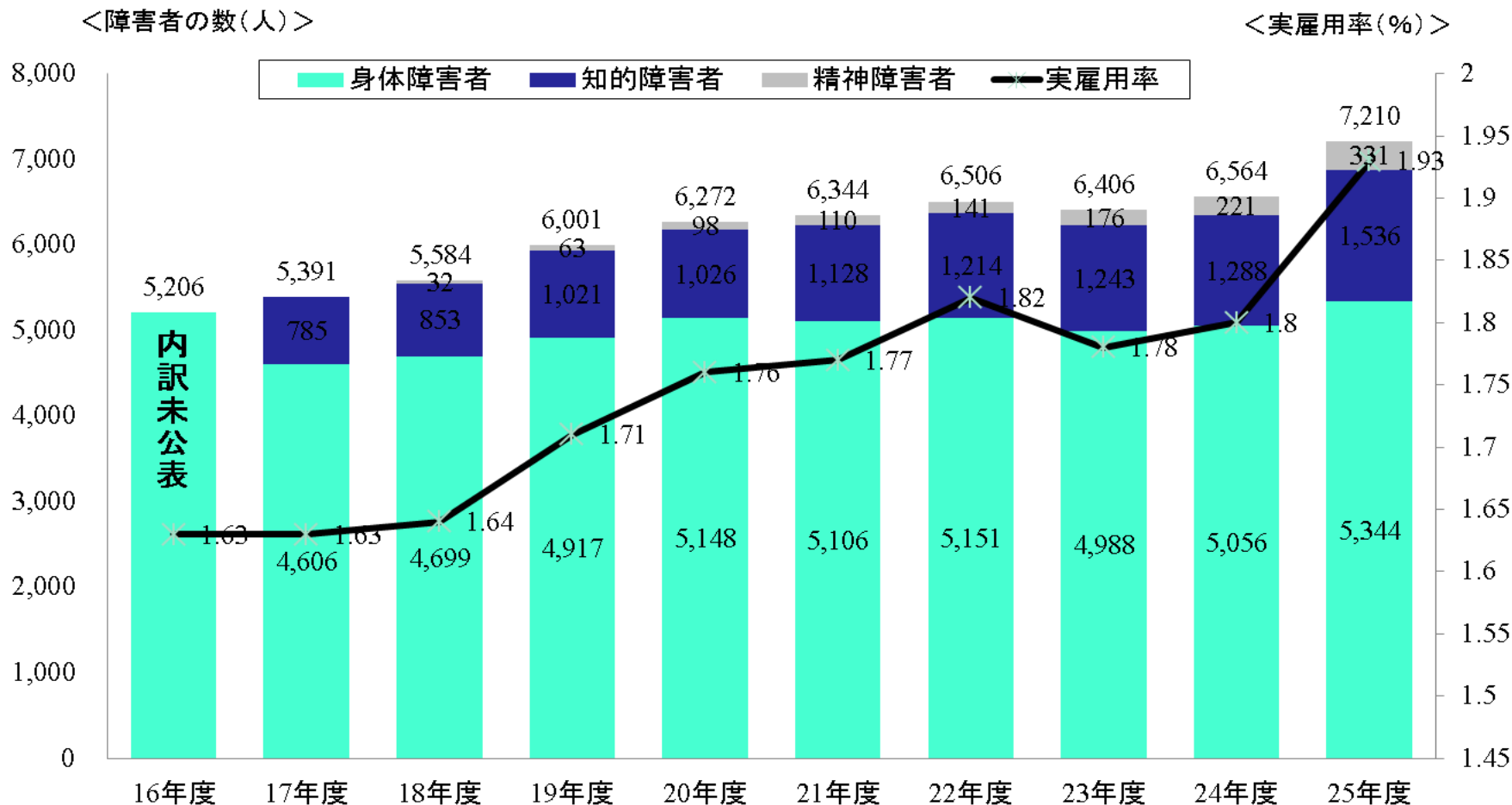
全国に占める割合
 身体:約2.78%、療育:約2.53% 精神は2.75%

合計 約6万5千人

1 京都府の障害者雇用の状況

※ 毎年6月1日現在の企業からの障害者雇用
状況報告による(56人以上の規模の企業)

(1) 障害者の雇用数・実雇用率の推移



1 京都府の障害者雇用の状況

(2) 京都府及び全国の雇用状況

※実雇用率の算定方法が変更（除外率の10%カット、短時間労働者（20～30時間）が算定対象

	京都府			全国		
	企業数(社)	実雇用率(%)	達成企業の割合(%)	企業数(社)	実雇用率(%)	達成企業の割合(%)
平成25年	1,588	1.93	46.9	85,314	1.76	42.7
平成24年	1,438	1.80	49.7	76,308	1.69	46.8
平成23年	1,429	1.78※	48.1	75,313	1.65	45.3
平成22年	1,358	1.82	49.5	71,830	1.68	47.0
平成21年	1,376	1.77	47.5	72,328	1.63	45.5
平成20年	1,389	1.76	48.0	73,042	1.59	44.9
平成19年	1,397	1.71	45.7	71,224	1.55	43.8

(3) 企業規模別

(単位:%)

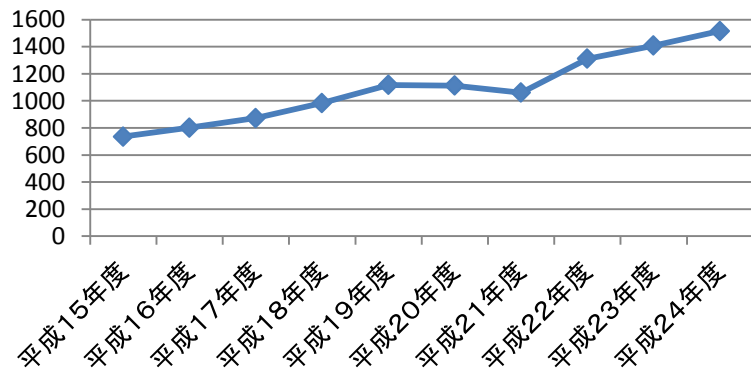
実雇用率の状況(平成25年)

	京都府		全国	
	平成25年	平成24年	平成25年	平成24年
50～55人	2.51		1.57	
56～99人	1.98	1.76	1.43	1.39
100～299人	1.78	1.65	1.52	1.44
300～499人	1.92	1.77	1.68	1.63
500～999人	1.84	1.84	1.77	1.70
1000人以上	2.05	1.93	1.99	1.90
合計	1.93	1.80	1.76	1.69

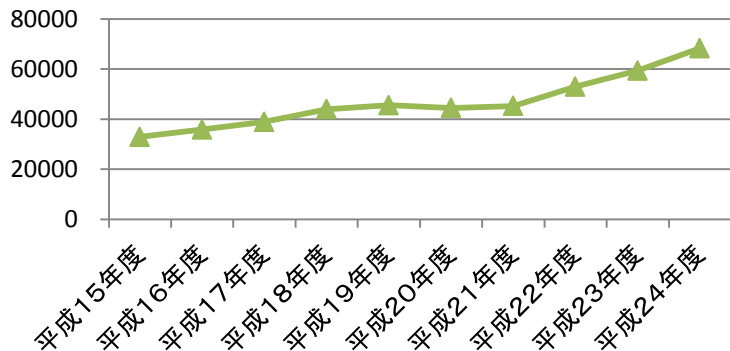
1 京都府の障害者雇用の状況

(4) ハローワークにおける障害者の就職件数の推移

京都府の就職件数



全国の就職件数



(5) 主な産業別実雇用率の状況

(%)

	京都府		全国	
	25年	24年	25年	24年
建設業	1.7	1.55	1.58	1.52
製造業	1.89	1.81	1.86	1.81
電気・ガス・熱供給・水道業	4.27	4.35	1.93	1.87
情報通信業	1.34	1.25	1.48	1.42
運輸業・郵便業	2.84	2.54	1.82	1.74
卸売業・小売業	1.29	1.25	1.56	1.48
金融業・保険業	1.86	1.75	1.83	1.76
宿泊業・飲食サービス業	1.6	1.22	1.68	1.58
教育・学習支援業	1.71	1.64	1.45	1.42
医療・福祉業	2.38	2.38	2.05	1.98
複合サービス業	1.98	1.82	1.63	1.59
サービス業	2.48	1.74	1.8	1.7
合計	1.93	1.8	1.76	1.69

2 京都府の障害者職業能力開発の取組 (1) 施設内訓練

■ 身体障害者

- ・昭和54年、城陽市の「国立病院機構南京都病院」「京都府立心身障害者福祉センター」などに隣接した場所に、京都府立身体障害者職業訓練校（現在は城陽障害者校と改称）を設置（縫製科・軽印刷科）
- ・平成16年度から「京都高等技術専門校」において、身体障害者を対象としたOAビジネス科を新設

■ 知的障害者

- ・昭和54年度から城陽障害者校において知的障害者の訓練を全寮制で実施（紙器製造科10名 縫製科10名）
- ・平成16年度から福知山校において、通校制の訓練を実施（販売実務科10名→平成22年に総合実務科に改称）
- ・平成22年に訓練科目等を再編し、京都府立障害者高等技術専門校（通校制）を設置（城陽障害者校（全寮生）を同校の分校とする。）
本校：身体 OAビジネス科 知的 総合実務科
分校：知的 紙器製造科

■ 発達障害者 → 一般校での実施

- ・平成20年度から京都高等技術専門校において国の発達障害者モデル事業を実施（ジョブトレーニング科）
- ・平成23年度から、キャリア・プログラム科と名称変更し定員10名で正規科目とした。

2 京都府の障害者職業能力開発の取組(1)施設内訓練

■京都府の障害者を対象とした施設内訓練の状況(平成24年度)

障害	学校名	訓練科名	期間	定員	入校	修了	就職	%	訓練内容等
身体	京都校	システム設計科	2年	5名	1	1	1	100	(身体障害者としての応募ではなく、就労時に障害者枠で就職)
	福知山校	IT・経理科	1年	5名	0	0	—	—	
	京都障害者校	OAビジネス科	6月2回	30名	25	24	20	83.3	OA機器操作、各種ビジネス文書の作成等
知的	福知山校	総合実務科	1年	15名	15	8	8	100	販売、清掃、製造の各種作業実習等
	京都障害者校	総合実務科	1年	20名	20	20	20	100	物流、リネン、介護、接遇の各種作業実習等
	城陽障害者校(全寮制)	紙器製造科	1年	10名	10	8	8	100	紙器製作作業を通じた技能訓練と寮生活を含めた生活訓練
発達障害	京都校	キャリア・プログラム科	1年	10名	10	7	7	100	物流、清掃、事務補助等の各種作業実習等(職場適応力とコミュニケーション能力を養成)

※上記修了者数にも就職退校者含む

※京都校、福知山校は一般校

※上記以外の職業能力開発施設として、「陶工高等技術専門校」があるが障害者枠は設けていない

2 京都府の障害者職業能力開発の取組 (1) 施設内訓練

① 京都府立京都障害者高等技術専門校の概要

場 所 : 京都高等技術専門校内に併設
／地下鉄烏丸線「くいな橋駅」下車1番出口正面 (京都駅から3駅目)

設置の経過: 昭和54年 城陽市に京都府立身体障害者職業訓練校を設置
平成元年 京都府立城陽障害者高等技術専門校に改称
平成22年 「京都府立京都障害者高等技術専門校」を設置
(京都高等技術専門校内)
※城陽校は、京都障害者校の分校として存続

訓練科目 : OAビジネス科・総合実務科(通校制)

施設の概要: 京都府立障害者高等技術専門校校舎(鉄筋4階建て)の1階及び3階の一部

1階:OAビジネス科	教室	104.64㎡	相談室	31.63㎡	
3階:総合実務科	実習室	576.24㎡	準備室	53.80㎡	教室 114.12㎡
	職員室	109.71㎡	校長室	26.99㎡	

※他に京都高等技術専門校の「メカトロニクス科」あり

体 制: 19名(うち8名は京都高等技術専門校と兼務)

2 京都府の障害者職業能力開発の取組

①京都障害者校

訓練科目：OAビジネス科

○訓練の特色

事務に必要な文書作成、ビジネス計算、接遇、事務関連ソフトを使いこなすための知識や技能を習得し、ビジネス現場での基本的な対応ができる人材を育成

○就職先

各種企業等の一般事務職

- ・アサヒ飲料(株)
- ・SGホールディングス(株)
- ・(株)京都銀行
- ・大東建託(株)
- ・大東建物管理(株)
- ・西日本旅客鉄道(株)
- ・ニチコン(株)
- ・市役所 ほか

○就職率・応募倍率

(人)

	応募者数	受検者数	合格者数	入校者数	修了者数	就職者数	就職率
平成22年度	48	47	27	27	26	20	76.9%
平成23年度	39	38	27	27	24	17	70.8%
平成24年度	38	36	26	25	24	20	83.3%
平成25年度	25	22	21	21			

※上記修了者数にも就職退校者含む



○職員数

3名

2 京都府の障害者職業能力開発の取組

①京都障害者校

訓練科目:総合実務科

○訓練の特色

知的障害者を対象に、「物流」「リネン」「環境・介護」「接遇」の4つの訓練を総合的に行い、それらの知識・技能の習得とともに、就労意欲や協調性など職場適応力を身につけ、総合的に職業人として自立できる人材を養成。

○就職先

- ・イズミヤ(株)
 - ・日本マクドナルド(株)
 - ・フジパン(株)
 - ・ヤマト運輸(株)
 - ・(株)王将フードサービス
 - ・共栄製茶(株)
 - ・佐川印刷(株)
- ほか

○就職率・応募倍率

(人)

	応募者数	受検者数	合格者数	入校者数	修了者数	就職者数	就職率
平成22年度	42	39	23	20	19	17	89.5%
平成23年度	47	45	23	19	18	15	83.3%
平成24年度	49	46	24	20	20	20	100.0%
平成25年度	41	37	23	20			

※上記修了者数にも就職退校者含む

○職員数

6名



物流の実習



リネンの実習



介護の実習



環境の実習



接遇の実習

2 京都府の障害者職業能力開発の取組 (1) 施設内訓練

②城陽障害者高等技術専門校の概要

場 所 :	城陽市(近鉄「新田辺駅」からバス) ※京都府立心身障害者福祉センターに隣接 ※近隣に「府立城陽支援学校」「国立病院機構南京都病院」
設置の経過:	昭和54年 京都府立身体障害者職業訓練校を設置 ・縫製科 ・紙器製造科 ・軽印刷科 平成元年 京都府立城陽障害者高等技術専門校に改称 軽印刷科を一般事務科に改称 平成2年 一般事務科をOA事務科に改称 平成19年 OA事務科は京都高等技術専門校「OAビジネス科」に統合 平成22年 「京都府立京都障害者高等技術専門校」の分校(全寮制) ・紙器製造科 ※縫製科は廃止
訓練科目 :	紙器製造科(全寮制)
施設の概要:	鉄筋2階建て(教室、実習室、講堂、居室、食堂、浴室等)
体 制:	5名

訓練科目：紙器製造科

○訓練の特色

知的障害者を対象に、その能力に適合した技能訓練と寮生活を含めた生活訓練を集団で行い、多様な仕事に適応する力を高め、職業的自立を目指す。
(全員が寮に入寮)

○就職先

- ・朝日給食(株)
- ・イオンビッグ(株)
- ・男前豆腐店(株)
- ・(株)さとう
- ・医療法人社団石錠会
- ・間口マテリアル・ハンドリング(株)
- ・(株)ライフコーポレーション
- ・(株)ロイヤルホテル

○就職率・応募倍率

(人)

	応募者数	受検者数	合格者数	入校者数	修了者数	就職者数	就職率
平成22年度	16	15	10	10	9	7	77.8%
平成23年度	17	17	10	9	9	7	77.8%
平成24年度	18	17	10	10	8	8	100%
平成25年度	15	14	10	9			

※上記修了者数にも就職退校者含む

○職員数

6名



2 京都府の障害者職業能力開発の取組 (1) 施設内訓練

③ 福知山高等技術専門校の概要

場 所 : 京都府福知山市南平野町90番地

施設の特徴: 昭和20年に福知山建築工補導所として発足した府北部唯一の職業能力開発校

訓練科目 :

訓練科名	訓練期間	定員	応募資格
自動車整備科	2年	20名	高卒以上
IT・経理科	1年	20名	18歳以上
ものづくり基礎科	1年	20名	18歳以上
総合実務科	2年	15名	知的障害者

※上記訓練コースのうち、障害者を対象とした訓練コースはIT・経理科・総合実務科の2コース

施設の概要: 鉄筋2階建て

体 制: 29名

その他 : 校内に寮を設置(車椅子、知的障害者の入寮は不可)

2 京都府の障害者職業能力開発の取組

③福知山校

訓練科目：総合実務科（平成16年度～21年度は販売実務科）

○訓練の特色

知的障害のある方を対象に、「販売」「清掃」「製造」の3つの訓練を総合的に行い、それらの知識・技能を習得するとともに、就労意欲や協調性、現場適応能力などを身につけ、総合的に職業人として自立できる人材育成を目指す。

○就職先

スーパーマーケット、清掃会社、食品加工会社、物流会社等

○就職率・応募倍率

(人)

	応募者数	受検者数	合格者数	入校者数	修了者数	就職者数	就職率
平成22年度	21	21	15	15	15	9	60.0%
平成23年度	17	15	11	11	6	5	83.3%
平成24年度	18	23	15	15	8	4	50.0%
平成25年度	15	14	10	10			

○職員数

正規職員3名、常勤講師2名



2 京都府の障害者職業能力開発の取組 (1) 施設訓練

④ 京都高等技術専門校の概要

場 所 : 京都市伏見区竹田流池町121-3
 地下鉄くいな橋1番出口正面 (京都駅から3駅目)

設置の経過:

- 昭和20年 京都建築工養成所として発足
- 昭和55年 京都府立京都職業訓練校に改称
- 平成元年 京都府立京都高等技術専門校に改称
- 平成10年 女子高等技術専門校を統合(洋裁科・OA事務科)
- 平成16年 国のモデル事業を活用して身体障害者対象のOAビジネス科を新設
- 平成19年 OAビジネス科を正規科目とした。
- 平成20年 国のモデル事業を活用して発達障害者対象のジョブトレーニング科を新設
- 平成22年 敷地内に「京都府立京都障害者高等技術専門校」を設置
- 身体対象のOAビジネス科を移管
- 平成23年 ジョブトレーニング科をキャリアプログラム科と改称し正規科目とした。

訓練科目:

訓練科名	訓練期間	定員	応募資格
システム設計科	2年	20名(※5名)	高卒以上
メカトロニクス科	2年	20名	高卒以上
機械加工システム科(1年コース)	1年	10名	
機械加工システム科(1年コース)	2年	10名	
建築科	1年	20名	
キャリア・プログラム科	1年	10名	

※上記訓練コースのうち、障害者を対象としているコースはシステム設計科・キャリアプログラム科の2コース

2 京都府の障害者職業能力開発の取組

④京都校

訓練科目:IT経理科(平成19年度～21年度はOA事務科)

■障害者枠の応募状況など

(人)

	OA事務科			IT・経理科			
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
応募者(受験者)	4	2	1	2	1	0	1
定員	5	5	5	5	5	5	5
合格者(入校者)	1	2	1	2	1	0	0
修了者	1	1	1	0	0	0	0
就職者	1	0	1	0	0	0	0

応募倍率	80%	40%	20%	40%	20%	0%	20%
就職率	100%	0%	100%				

■その他

- ・スタッフとして、正規職員2名を配置
- ・教室は、身体障害者用トイレがある1階とし、車椅子等乗り入れ可能な施設を活用

訓練科目：キャリアプログラム科

○訓練の特色

発達障害のある方(知的障害を伴わない)を対象に、各種作業を通して職場での適応力を高めるとともに、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力の習得と向上を目指す。

○就職先

- ・ローム・メカテック(株)
- ・ワクビ化学工業((株)
- ・(社)京都府自動車整備振興会 ほか

○就職率・応募倍率

(人)

	応募者数	受検者数	合格者数	入校者数	修了者数	就職者数	就職率
平成22年度	8	8	8	8	7	7	100.0%
平成23年度	5	4	4	4	3	3	100.0%
平成24年度	18	18	10	10	7	7	100.0%
平成25年度	15	15	10	10			

○職員数

正規職員2名、常勤講師3名



2 京都府の障害者職業能力開発の取組

④京都校

訓練科目:システム設計科

■障害者枠の応募状況など

- ・身体障害者優先枠(5名)を設けているものの、身体障害者としての応募はない。
- ・ただし、就職時に障害者枠での就労を希望する者もあり、入校時(一般応募) → 就職(障害者枠)との経路をたどる訓練生がいる。

(人)

	応募者数	受検者数	合格者数	入校者数	修了者数	就職者数	就職率
平成22年度	0	0	0	0	0	0	
平成23年度	0	0	0	1	1	1	100.0%
平成24年度	0	0	0	1	1	1	100.0%
平成25年度	0	0	0	0			

■その他

- ・教室は、車椅子等乗り入れ可能。
- ・教室のある4階を含め各階に障害者用トイレを設置。



2 京都府の障害者職業能力開発の取組 (2) 委託訓練

■京都府における離職者向け短期職業訓練実施状況

(人)

	受講者数 ①	修了者数 ②	就職者数 ③	就職率 ③／②
22年度	106	90	45	50.0%
23年度	80	77	22	28.6%
24年度	77	72	26	36.1%

■24年度の実施状況

(人)

区分	実定員	応募者数	受講者数	修了者数	就職者数
知識技能習得コース	75	88	60	55	19
知識技能習得コース(在職者訓練)	10	8	8	8	-
実践能力習得訓練	6	6	6	6	4
特別支援学校早期訓練コース	3	3	3	3	3
合計	94	105	77	72	26
合計(在職者訓練を除く)	84	97	69	64	26

2 京都府の障害者職業能力開発の取組 (2) 委託訓練

<参考> 24年度の訓練実施状況

◇ 京都高等技術専門校で実施の訓練											
No.	コース	定員	応募者数	受講者数	修了者数	就職者数	時間数	実施期間	実施場所	委託法人	
1	OA基礎科(視覚)	3	2	2	1	1	3月	7/3	10/2	京都ライトハウス(北区)	(福)京都ライトハウス<視覚>
2	eラーニングコース(DTPスペシャリスト科)	5	5	5	4	1	3月	7/3	9/28	大塚商会αラーニングセンター京都	大塚商会
3	OA基礎科(精神)	15	29	15	15	8	3月	7/3	9/28	パソコン教室はな 六地藏教室	(株)トーカイスタッフ
4	介護サービス科(精神)	10	20	10	8	4	3月	8/22	12/5	京都市朱雀工房	(福)京都光彩の会
5	OA基礎科(視覚)	3	3	3	2	0	3月	10/19	2/5	京都ライトハウス(北区)	(福)京都ライトハウス<視覚>
6	給食サービス科(知的)	5	5	5	5	3	1月	11/6	11/29	木津川市西部交流会館ほか	(福)京都ライフサポート協会<知的>
7	OA実践科(精神)	15	12	8	8	1	3月	12/4	3/1	パソコン教室はな 六地藏教室	(株)トーカイスタッフ
8	eラーニングコース(WEBサイト作成科)	5	2	2	2	0	3月	12/4	3/7	大塚商会αラーニングセンター京都	大塚商会
9	OA基礎科(聴覚)	10	6	6	6	0	2月	12/4	1/31	全国手話研修センター	全国手話研修センター
	接客サービス科(知的、精神)	未実施					1月				エクスクラメーション
計		71	84	56	51	18					

◇ 福知山高等技術専門校で実施の訓練											
No.	コース	定員	応募者数	受講者数	修了者数	就職者数	時間数	実施期間	実施場所	委託法人	
1	OAシステム科(身体)	2	1	1	1	0	3月	11/1	1/31	梶村電気講習会場	(株)堀通信
2	OAシステム科(身体)	2	3	3	3	1	3月	12/5	3/4	舞鶴21ビル	上杉教育機器(株)
	パソコン基礎科(身体・精神)	未実施					2月	12/18	2/13		(株)ベジフォレ
計		4	4	4	4	1					

2 京都府の障害者職業能力開発の取組 (3)ステップアップ事業

未就職の若年障害者(概ね35歳未満)を雇用し、研修等を通して早期の就業を支援する取組

(国の緊急雇用基金を活用し、平成22年7月から実施)

■ 雇用先: 京都府障害者就労ステップアップセンター (京都市南区 京都テルサ内)

■ 対象者 府内企業への就職を希望する概ね35歳までの障害者
 ①社会人基礎力型(14名程度 前期7名(知的障害者) 後期7名(身体、精神障害者)

②企業実習型(60名程度)(25年度新規)

■ 研修期間中の生活支援 月額6万5000千～10万円程度(800円/時間)

■ 研修内容

社会人基礎力型 コミュニケーションやビジネスマナー等の集合研修と企業実習(4箇月間)

企業実習型 企業実習中心の訓練と職場定着支援(1～2箇月程度)

■実績(社会人基礎力型)

(人) H25.11現在

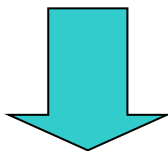
	区分	期間	障害区分	採用人数	就職者数	就職率	定着状況	定着率
22年度	前期	4ヶ月	身体・精神	10	9	90.0%	7	77.8%
	後期	4ヶ月	知的	9	7	77.8%	7	100%
23年度	1期	3ヶ月	精神	8	7	87.5%	5	71.4%
	2期	3ヶ月	知的	7	7	100%	6	85.7%
	3期	3ヶ月	身体・精神	6	6	100%	6	83.3%
24年度	前期	4ヶ月	知的	7	7	100%	6	85.7%
	後期	4ヶ月	身体・知的・精神	7	7	100%	7	100%
25年度	前期	4ヶ月	知的	7	7	100%		100%
	後期	4ヶ月	身体・精神	7				

2 京都府の障害者職業能力開発の取組

(4) 障害者の訓練等についての現状と課題

① 施設内訓練

- ・**知的障害者対象訓練**については、通校制、全寮制の併設により、障害者の選択の幅が広がり、以前に比べ応募者は増加
- ・一方、特別支援学校の職業学科の設置や軽度の知的障害者が雇用率の上昇に伴い訓練校に通うことなく一般就労できている。
- ・身体障害者の就職状況は一定改善されているが、重複障害者や重度障害者の就職は今なお厳しい状況にあり、今後、身体障害者対象の施設内訓練は重度障害者を対象とした内容の訓練に重点化する方向で検討
- ・精神障害者の就職が進んでいない現状を踏まえ、精神障害者を対象とした施設内訓練の実施についての検討が必要



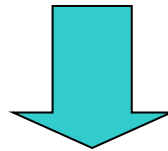
- ・精神障害者向けコースの新設など新たな取り組みには、国のモデル事業等の後押しが重要。(財源、ノウハウ、人材確保など)
- ・障害者に対する差別禁止、合理的配慮の提供義務の対応策が必要
(例)一般校での障害者受入れの体制整備への助成
(施設改修費、専門職員の設置など)

2 京都府の障害者職業能力開発の取組

(4) 障害者の訓練等についての現状と課題

② 委託訓練

- ・現在、求職中の障害者は重複障害、高次脳機能障害、発達障害など多様化・複雑化の傾向にあり、受講者のニーズが多種多様
- ・精神障害者の就職が進んでいない現状を踏まえ、精神障害者の就労に向けて、きめ細かな訓練が必要だが課題も多い。
 - 就労意欲はあるが、波がありやむをえず欠席
 - 訓練が必要ではあるが、訓練に通う交通費がかさむため、受講しないケースも
 - 委託料が変動し、訓練受託企業の確保が難しい



- ・地域の創意工夫による受講者の適性に応じた訓練実施
- ・障害の特性に応じ、きめ細かく必要な訓練が実施できるよう、十分かつ柔軟な委託料の設定が必要
(例: 少人数でも必要経費に応じた単価設定、手話・PSWの確保等)
- ・訓練手当の拡充(注: 現在は、予算の制約から施設内訓練のみ支給)

3 京都府の障害者就労に向けた主な取組

(1) はあとふるコーナー(概要)

1 趣旨

障害のある方の就業をきめ細やかに支援し、法定雇用率2%を達成するため、就労支援の拠点として「**京都ジョブパーク**」に「**はあとふるコーナー(はあとふるジョブカフェ)**」を設置し、相談から職業訓練、職業紹介、職場定着支援までのサービスをワンストップで提供するとともに、職場実習体験を通して企業と障害のある方の出会いの場づくりに取り組む。

2 特徴

- ・相談から就職後の職場定着支援までをワンストップでサポート
- ・京都労働局、ハローワークなどの関係機関との密接な連携

3 事業内容

障害者に対するサービス内容

- ・就職に向けた相談・助言、職業訓練の相談・助言
- ・SSTの実施(一般的なコミュニケーション能力等の向上)
- ・企業実習先の紹介、職場定着支援 等

企業に対するサービス内容

- ・法定雇用率未達成企業への支援
- ・企業向けセミナーの開催
- ・企業実習先へのはあとふるジョブサポーターの派遣

4 対象者

障害者手帳の有無にかかわらず、障害をオープンにして就職をめざしている人

5 運営体制

委託による運営

【参考】京都ジョブパークとは①

■ 京都ジョブパークとは

- ・ハローワークと緊密に連携し、相談から就職、職場への定着まで、ワンストップで支援する総合就業支援拠点
- ・京都府、労働者団体、経営者団体などによる共同同運営
- ・ジョブパークを支える「企業応援団」の結成など、全国初の取り組みを通じて、府民の就労を応援

■ 特徴

① 担当者制

経験豊富なカウンセラーが、就職するまで、一人ひとりに合った支援を実施

② 専門コーナー

障害者(はあとふる)大学生、留学生、農林水産業、福祉人材、自立就労支援、マザーズジョブカフェなどの専門コーナー

③ 就職力向上

就職実現に必要なヒューマンスキル、就活スキル、テクニカルスキルに関するセミナー・訓練をほぼ毎日開催。(カウンセラーが、利用者に応じたメニューを提案)

④ 京都企業のネットワーク

2000社を超える京都企業がジョブパークをサポート。
ジョブパーク利用者向けの企業説明会や職場見学会などを開催

⑤ 快適環境

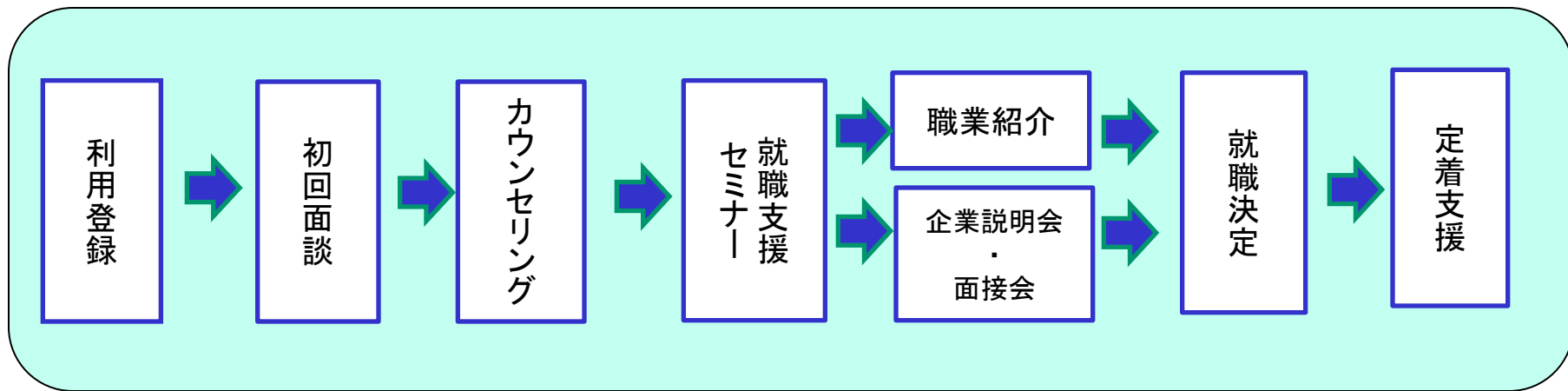
ゆったりとした相談スペース、温かい雰囲気

⑥ 育児・生活支援

保育所情報や公的機関が行う生活支援制度など、就職活動中の様々な支援情報を提供

【参考】京都ジョブパークとは②

■京都ジョブパークサービスの流れ



■利用実績

(人)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	累計
相談者数(延べ)	42,319	44,497	51,980	63,615	70,881	100,277	63,109	436,678
新規登録者数	6,249	6,150	6,738	8,408	9,548	12,981	6,606	56,680
就職内定者数	3,012	3,358	3,555	4,316	4,894	7,037	4,208	30,380

25年度は、平成25年4月1日～平成25年9月30日までの集計
○企業応援団登録企業数 2,302社 (平成25年9月30日現在)

3 京都府の障害者就労に向けた主な取組 (1) はあとふるコーナー(利用実績)

■利用実績(20年4月～25年3月末)

項目 \ 年度	20	21	22	23	24	累計
延べ来所者数(人)	986	2,809	3,640	4,018	3,269(※)	14,722
1日平均来所者数(人)	3.4	9.6	12.3	13.5	11.2	10.0
新規登録者数	304	237	240	194	341	1,316
就職内定者数	41	104	145	172	182	644
就職内定率	—	—	—	—	—	48.9%

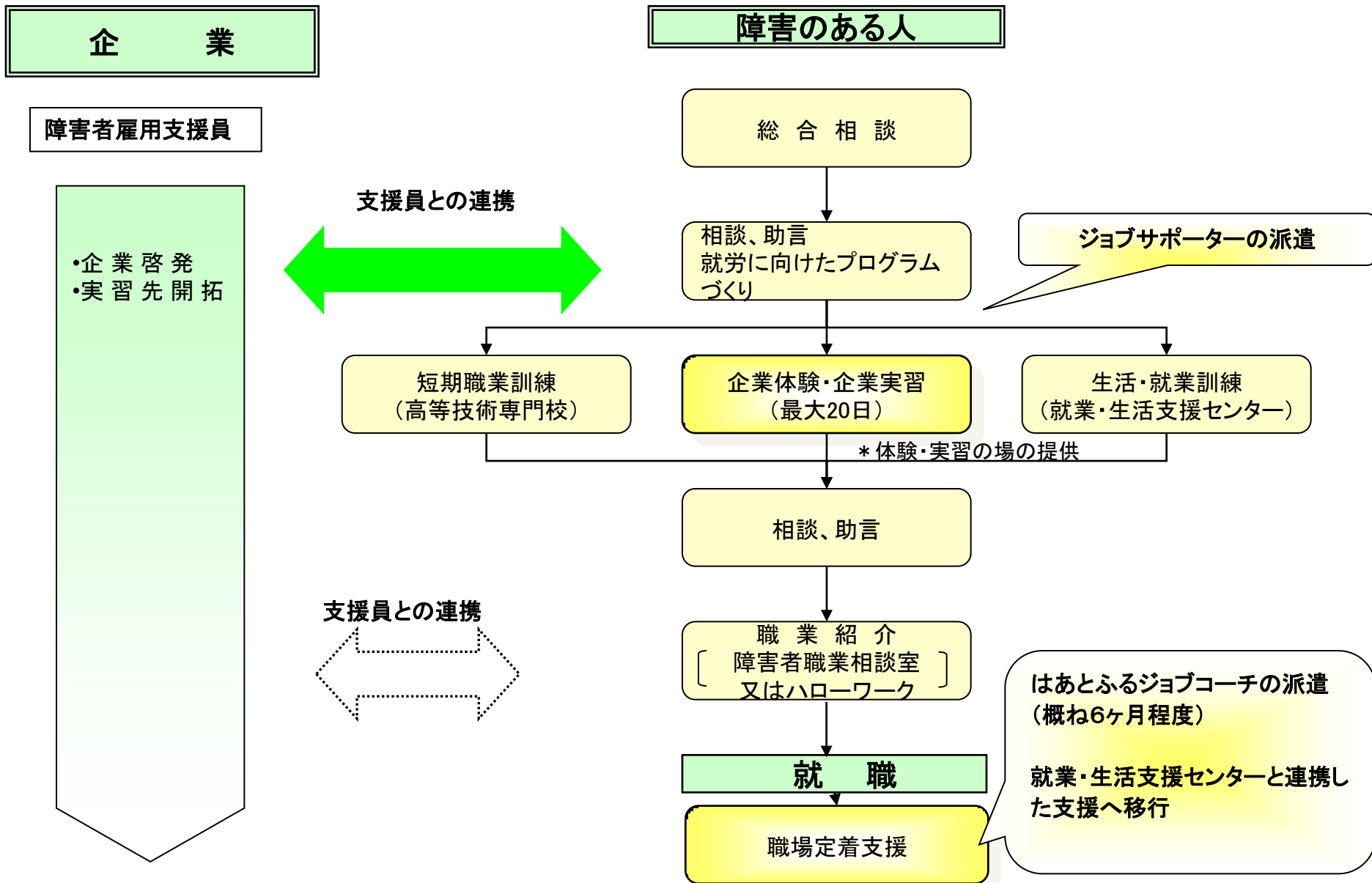
※セミナー等での来所者数を除く

■障害種別の利用状況(20年4月～25年3月末)

	来所者数	割合(%)	実来所者数	内定者
身体障害	4,127	28.0	462(35%)	237(37%)
知的障害	3,101	21.1	206(16%)	128(20%)
精神障害	5,927	40.3	537(41%)	237(37%)
その他(発達障害)	1,567	10.6	111(8%)	42(6%)
計	14,722	100	1,316	644

3 京都府の障害者就労に向けた主な取組

(1) はあとふるコーナー(サービスの流れ)



3 京都府の障害者就労に向けた主な取組

(2) 法定雇用率未達成企業訪問

■ 京都府の法定雇用率の状況

※実雇用率の算定方法が変更（除外率の10%カット、短時間労働者（20～30時間）が算定対象

	京都府			全国		
	企業数(社)	実雇用率 (%)	達成企業の割合 (%)	企業数(社)	実雇用率 (%)	達成企業の割合 (%)
平成25年	1,588	1.93	46.9	85,314	1.76	42.7
平成24年	1,438	1.80	49.7	76,308	1.69	46.8
平成23年	1,429	1.78※	48.1	75,313	1.65	45.3
平成22年	1,358	1.82	49.5	71,830	1.68	47.0
平成21年	1,376	1.77	47.5	72,328	1.63	45.5
平成20年	1,389	1.76	48.0	73,042	1.59	44.9
平成19年	1,397	1.71	45.7	71,224	1.55	43.8

・「明日の京都」中期計画の目標 平成成26年度までに京都府の法定雇用率を2%にすること



府内の法定雇用率未達成企業724社を訪問(基金で雇用した企業支援員等が訪問)

■ 企業訪問の結果

- 724社のうち452社を訪問、271社(内187社は障害者雇用ゼロ人企業)は訪問に受け入れに至らなかった。
- 訪問企業452社うち、48社において「はあとふるコーナー」の利用者を雇用又は企業実習を受け入れた。
- 企業が障害者雇用が困難と考える理由は、「雇用に対する理解が不足」「受入体制(仕事の切り出しなど)が未成備」。 今後は、障害者雇用セミナー、企業見学ツアー等に誘導することにより、雇用に結びつける。

3 京都府の障害者就労に向けた主な取組

(3) 障害者「福祉から雇用」応援事業

■ 事業概要

就労継続支援A型・B型事業所等で働く障害者を就労支援機関につなぎ、一般就労への移行を促進する。

<内容>

- ・「障害者働き支援隊(①就労移行支援員:4名、②スーパーバイザー:2名)」を京都ほっとはあとセンターに設置
- ・「障害者働き支援隊」が就労継続支援B型事業所を訪問し、事業所で働く障害者の能力や就労への意欲を把握し、就労支援機関につなげる。
 - ・必要に応じて企業実習等に同行支援
 - ・「スーパーバイザー」は、就労移行支援員の活動に対し指導・助言を行い、必要に応じて事業所への訪問やケース会議に出席
- ・就労継続支援A型事業所に「共働推進員」を1名配置し、就労支援機関及び企業実習等への同行支援を実施

<実施事業所>

就労継続支援A型事業所 8か所
就労継続支援B型事業所 20か所

■ 目標

A型事業所からの一般就労 30名
B型事業所からの一般就労 20名

4 課題と今後の京都府の取組

(1) 課題

■ 未達成企業が800社以上あり、中小規模の雇用率が最も低い

→企業の受入体制に課題

- ・アウトソーシングが進み、業務の切り分けが難しい
- ・従業員の理解が必要、・バリアフリーなど施設整備が必要

※H28 障害者が職場で働く際の支障改善措置の義務づけに伴い、雇用が抑制されないか？

■ 就業力の強化

現在、求職中の障害者は重複障害、高次脳機能障害、発達障害など多様化・複雑化の傾向にあり、障害の特性に対応したきめ細かな訓練や企業とのマッチングが必要

「施設内訓練」「委託訓練」の効率的な活用と充実が必要

■ 精神障害への対応

精神障害者の雇用が進んでいない現状を踏まえ、精神障害者の特性にあわせた雇用管理、定着支援等が必要

■ 福祉的就労からの移行

福祉的就労から一般就労への移行が福祉的就労施設定員の3%にとどまるなど低水準
一般・福祉就労双方向での円滑なマッチング支援の強化など全体として一般就労の道を開くことが課題

■ 関係機関との連携

障害者の就労支援には、教育・福祉・医療まで様々な期間が関係。関係機関が役割と連携関係を明確にし、組織の枠を超えた一体的な支援を行っていく視点が重要

4 課題と今後の京都府の取組

(2) 今後の京都府の取組

<障害のある方に対する支援メニューの充実・多様化>

■高等技術専門校を中心とした就業力の強化

- ・長期的視点に立った施設改修等の検討
- ・委託訓練制度等の国の制度改善を求めながら積極的に活用
- ・訓練受講者と企業とのマッチング支援を強化

■精神障害者の訓練を強化

- ・委託訓練の活用
- ・福祉部門の社会適応訓練事業を活用

■京都ジョブパーク「はあとふるコーナー」など就労支援機能の充実・強化

<企業の協働による雇用の場の創出と拡大>

■障害者雇用企業サポート事業の実施

- ・障害者雇用専門アドバイザーの派遣
- ・障害者雇用総合相談窓口の設置 等

■特例子会社等の設立推進

- ・特例子会社設立に取り組む企業の発掘
- ・地域のNPO、社会福祉法人等と連携して障害者を多数雇用する中小企業等を支援

ご静聴ありがとうございました。

